

Multicenter cohort study of multiple treatments in patients with abdominal desmoplastic small round cell tumors (DSRCT)

腹部に発生した線維形成性小円形細胞腫瘍 (DSRCT) に対する 集学的治療に関する多施設共同コホート研究

1. 研究の対象

2000 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間に、当院で腹部に発生した線維形成性小円形細胞腫瘍 (DSRCT) と診断された方。

2. 研究目的・方法

目的：腹部に発生した DSRCT に対する集学的治療の有効性を明らかにすることです。

方法：研究対象者の診療録を後ろ向きに調査します。

実施期間：研究許可日～2025 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、発生部位、転移の有無、化学療法の開始日・薬の種類・投与量、手術日、手術時間、出血量、入院期間、放射線治療の内容、合併症、合併症に対する治療、再発の有無 等

4. 外部への試料・情報の提供

あなたのデータを含む研究に関するデータや情報について、外国の研究機関からデータの提供を求められることがあります。現時点であなたのデータを提供する予定の研究機関は以下の通りです。

- ・ The Netherlands Cancer Institute (アムステルダム、オランダ)
- ・ A. C. Camargo Cancer Center (サンパウロ、ブラジル)
- ・ Fondazione IRCCS Istituto Tumori di Milano (ミラノ、イタリア)

上記当該外国における個人情報保護制度の有無：あり

その概要：以下をご参照ください

<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>

5. 研究組織・研究代表者

TARPSWG (The Transatlantic Australasian Retroperitoneal Sarcoma Working Group) 参加施設のうち、本研究に参加する施設となります。

(<https://tarpswg.org/open-studies-project/>を参照)

研究代表者：Winette T. A. van der Graaf, MD PhD (Div. medical oncology, Professor)

6. お問い合わせ先

当センターの提供責任者：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511（代表）

所属・氏名：国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科

岩田慎太郎